

日本大学 法学部 校友会報

CONTENTS

- 04 母校と共に歩む女性対談
日本大学のこれから
今泉祐子 日本大学理事 × 浅野みゆき 法学部校友会会長
日本大学評議員
- 10 日本の温泉文化を未来へ
一般社団法人 日本温泉協会会長 多田計介さん
一般社団法人 日本温泉協会専務理事 関豊さん
- 22 Report
箱根駅伝壮行会

NICHIHO

ニチホウ

vol. 64



地域に刻む千秋の思い～誠実・感謝・奉仕～ これからも。



安心と安全を提供する警備会社
株式会社 トスネット

取締役会長 佐藤 康廣 (昭和43年卒)
代表取締役社長 氏家 仁
代表取締役専務 佐藤 雅彦

事業内容 警備事業
(施設警備/交通誘導警備/雑踏警備/イベント警備/列車見張警備/防犯機材の販売、設置)

本社 〒983-0045 宮城県仙台市宮城野区宮城野一丁目10番1号
TEL (022)299-5761 FAX (022)299-5874
URL : <https://www.tosnet.co.jp/>

<トスネットグループ> 全17社 1都1道18県に93拠点

《グループ会社》

◆警備事業(14社)

株式会社北日本警備 (本社:札幌市)
株式会社トスネット北東北 (本社:盛岡市)
株式会社大盛警備保障 (本社:盛岡市)
株式会社トスネット南東北 (本社:郡山市)
アサヒガード株式会社 (本社:郡山市)
株式会社トスネット上信越 (本社:新潟市)
株式会社トップロード (本社:新潟市)
株式会社トスネット北陸 (本社:金沢市)
株式会社トスネット首都圏 (本社:江東区)
株式会社三洋警備保障 (本社:世田谷区)
NEXT株式会社 (本社:福生市)
株式会社日本保安 (本社:千葉市)
株式会社アイワ警備保障 (本社:千葉県睦沢町)
株式会社トスネット琉球 (本社:那覇市)

◆ビルメンテナンス事業・人材派遣事業(1社)

株式会社ビルキャスト (本社:仙台市)

◆電源供給事業(1社)

ICCインターナショナル株式会社 (本社:札幌市)



◆警備事業



◆電源供給事業

日大出身者が多数ご活躍しています!

..... 幹部候補 社員募集中





日本大学法学部校友会会長

浅野 みゆき

あさの・みゆき ■北海道生まれ。1981年法学部法律学科卒業。83年司法書士試験合格。2010年から11年日本大学法学部司法書士科研究室運営委員。18年から22年司法書士校門会会長。みゆき司法書士事務所所長。日本大学評議員。

皆様方には、常日頃より日本大学並びに法学部校友会に對しまして格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

会長の浅野みゆきと申します。北海道函館市出身です。原宿、表参道で司法書士をしています。

この会報の発行時期を12月から年が明けて2月に変えました。以前は12月発行の会報に翌年5月の総会懇親会の案内を掲載していましたが、発行時期を2月に変えることよって5月の総会懇親会の案内状を同封し、開催を忘れないで頂くためです。総会懇親会は法学部校友会にとって一大イベントです。たくさんの方の方にご参加頂きたく、これからの会員の方にご参加頂きたく、これからも色々な方法で開催の周知を図っていきたいと思います。

発行時期の変更により、箱根駅伝の結果や司法試験や各種国家試験の合格状況などいち早くお知らせすることが出来るようになりました。皆様ご存じの通り、箱根駅伝は10位で来年のシード権が獲得できました。出場選手の中には法学部の学生が多く、より応援に力が入りました。司法試験合格者は去年より増加し22名が合格しました。

先輩方に「箱根駅伝はどうなっているんだ?」「司法の日大は?」など、総会懇親会でお言葉を頂くことも多いのですが、学生はみなよく頑張っていますし、部長の小田先生をはじめ法学部の教職員の方々は親身になって学生の面倒をみておられます。

現在、法学部校友会は、学部の先生、

法学部校友会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より法学部の教育・研究及び学生指導に對しまして、格別のご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。この場をお借りして、心よりお礼申し上げます。

法学部の健全な運営のためには、安定した財政基盤を確立することが必要であり、とりわけ入学志願者の確保は、学部の将来にとって最重要課題であるといえます。入学志願者を増加させるためには、受験生の動向に関する情報を十分に収集した上で、入試制度を詳細に分析し広報戦略を展開することはもとより、法学部及び各学科の特徴を明確化し、志願者に對してその優位性をアピールしていくことが重要です。そのために、法学部では、学部説明の動画の作成や各種イベント等、広報活動を強化しています。今年度も、高校生等の受験生を対象とした学部紹介の動画を配信しており、また進学相談会、オープンキャンパス、公開セミナー、学部の入学説明会等を通じて積極的に広報活動を展開しています。

法学部では、司法試験の合格者数の増加を目標に、法務研究科との緊密な連携強化を図り、様々な取り組みを行っておりますが、ここ数年、司法試験において良い結果を残しています。今年度の司法試験では、本学から22名(昨年19名)が合格し、合格率は20.1%であり、昨年と比

職員の方々のご協力のもとに学生支援として、以下の活動をしています。

1. 奨学金の授与(2種類)

困窮学生に対する支援と「司法の日大」の復活のために頑張ってくれる意欲ある学生に対する支援。

2. 就活セミナー、就活ゼミへの支援

3. 学生サポーター主催のマスコミ・メディア就活セミナーへの支援

4. 法律討論会への支援

法曹界で活躍する卒業生に直接ご指導いただける法学部らしい企画です。

5. 資格試験合格者褒賞制度

学生が挑戦する資格をあらかじめエンターリーし、合格者を褒賞します。

6. デジタルチャージスポットの設置

スマホの充電ができます。デジタルサインージで、校友会活動の周知にも役立っています。

7. 日本語講座ウエルカムパーティへの支援

各国から日本語講座に来た留学生のウエルカムパーティの支援をしています。

8. 選書ツアーへの支援

学生に本をもっと読んでもらいたい、図書館をもっと利用して欲しいという願いで始めた企画です。

9. 卒業祝賀会への支援

その年毎に卒業生の雰囲気が変わり、役員一同参加を楽しみにしています。

私達法学部校友会役員一同は、学生に母校愛を持ってほしい、学生のうちから校友会の存在を知り、今後も会を支えてほしいと下心いっぱい学生に向けて活動を続けています。

べ合格者数が増加しました。特に在学中受験では25名中7名が合格し、合格率は28.0%でした。

また、その他の難関国家試験においても、司法書士試験では2名、公認会計士試験では1名、弁理士試験では2名、税理士試験では1名が本学から合格しています。今後も、法学部のOB・OG等と連携強化を図り、司法試験等の各種難関国家試験等の合格者増加に向けた指導体制を整えて参りますので、校友会の皆様には、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

法学部では、付属高校から多くの法曹を輩出することを目標に、将来、法曹を希望する付属高校の生徒に對し、積極的に学習支援を行っています。今年度、法学部のプログラムに参加した付属高校の生徒2名が法学検定に合格しましたので、今後も付属高校の生徒に對し、積極的に学習支援を行って参ります。

さて、今年度も法学部校友会より財政面でご支援をいただき、様々な企画を実施させていただきました。改めまして、校友会の皆様には、心より感謝申し上げます。

今年度は9月20日(土)に、マスコミ・メディア就活セミナーを開催しました。ご多忙にもかかわらず、マスコミ業界等でご活躍されているOB・OGの皆様にご参加いただきました。将来、マスコミ業界等を指す本学の学生たちに

卒業生に對しては、1. 総会、懇親会の開催 2. 講演会の開催 3. ホームカミングデーの支援 4. 会報の配布などの事業を行っています。

11月の学園祭と同時期に開催されたホームカミングデーでは、SDGsについての講演会も行われました。

法学部校友会の総会懇親会には山形県支部、神奈川県支部、宮城県支部、福島県支部の方々が参加され、懇親交流をしています。また、それぞれ地方支部の総会懇親会にもお招きいただいています。

大学本部の校友会については、これから準会員費制度について大きな変化がありそうです。法学部校友会は以前から独自の体制を維持し続けてきました。頑固に体制を維持されてきた大先輩たちに改めて敬意を表します。おかげさまで屋台骨は揺らぐことなくこの会は続いていきます。

ただ、今まで続けてきた学生支援を変わりなく続けていくためには、益々皆様の知恵と知識を結集しご協力頂かないといけません。今後とも各界で活躍される皆様お一人お一人の人間力をもって会の運営を支えていただき、時代に合った活動を継続していきたいと思ひます。

法学部校友会は、学生の支援を行い、会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与する事を目的とした会です。その使命を再度確認し、校友の皆様と一緒に、変化を恐れずより高い評価を戴けるよう活動を進めて参ります。

最後になりますが、皆様のご健勝ご活躍を祈念して私の挨拶とさせていただきます。

とって大変有意義な就活セミナーであったと思ひます。ご協力いただきましたOB・OGの皆様には、この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

また、11月3日(月)・4日(火)に法桜祭を開催し、法桜祭開催時に合わせて11月3日(月)にホームカミングデーを行いました。さらに、12月13日(土)に毎年行っております法律討論会を開催し、そして同日に資格試験合格者等を対象とした褒賞授与式を開催させていただきました。OB・OGの皆様には、各イベントに多数ご参加いただき、心より感謝申し上げます。

現在、本学のみならず私立大学を取りまく環境は非常に厳しいものとなっております。非常に厳しい状況ではあります。私たちが法学部教職員一同は、法学部をさらに発展させるため、これまで以上に一丸となって教育・研究及び学生指導に精一杯努力して参ります。

最後になりますが、私たち法学部教職員一同は、これからも法学部校友会のご協力・ご支援をいただき、校友会と心を一つにして、法学部及び日本大学の発展のために尽力して参りたいと思ひます。法学部校友会の皆様には、今後とも変わらぬご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。



日本大学法学部長

小田 司

おだ・つかさ ■1963年青森県生まれ。87年法学部法律学科卒業。90年大学院法学研究科博士前期課程修了。96年ヨハネス・グーテンベルク大学にて法学博士号(Dr.jur)取得。97年国際関係学部専任講師。2001年助教授、02年法学部助教授、06年同教授。

日本大学のこれから

大学卒業後、それぞれのキャリアを重ねながら現在大学の運営に関わっている日本大学理事の今泉祐子さんと法学部校友会会長で評議員の浅野みゆきさん。同い年のお二人に、これからの大学への考えやご自身の大学時代についてお話ししていただきました。



法学部図書館にて

母校と共に歩む女性対談

Sachiko Imaizumi



いまいずみ・さちこ●1958年東京都生まれ。1981年法学部新聞学科卒業。同年サンケイリビング新聞社入社。校閲、編集、マーケティングを担当。第一子出産を経て1986年婦人生活社で育児雑誌の編集に携わった。第二子出産後1991年に住友生命アンテナショップで情報誌編集を担当。1998年より生活科学運営にて高齢者住宅の企画運営、広報、営業を担当し、グループ子会社の代表取締役、社団法人の理事を務めた。2016年～2019年長谷工シニアホールディングス取締役常務執行役員、2019年～2020年同専務執行役員。2020年～2022年ふるさと取締役副社長。2022年7月より日本大学理事（整備計画検討委員会、寄附行為等改正検討委員会、DC導入検討委員会、中期計画検討委員会）。

大学での活動

浅野 今泉さんが理事になられたきっかけは？

今泉 大学の不祥事があって、理事構成が変更になる際に打診がありました。第三者委員会から外部の人を理事に選ぶことが求められていたことで、女性で企業経営の経験があり、卒業後母校に直接関わりがなかった私に声がかかったのだと思います。大学のお役に立てればと、お引き受けすることにしました。

浅野 大学の寄附行為等改正検討委員会です。またまた席が隣になってお話し

しました。女性で同い年で法学部同期で親近感を持ちました。

今泉 そうでした。2024年から2年間、月に3回位お会いしましたね。今は基本、月に1回の理事会や評議員会、臨時理事会、いくつかの委員会活動に参加しています。

浅野 理事になられて、最初の日本大学の印象はどうでしたか？

今泉 “ムラ社会”と評されたように良くも悪くも日大色が強いなと感じました。職員も日本大学出身の方が多いため、外の風をもっと取り入れた方がよいと感じました。

浅野 私は長く大学に関わっていま

すが、16学部あって多様な人材がいるように感じていましたが、外から見るとまた違うんですね。

今泉 人事、組織のあり方に違和感を感じることもありました。外部研修への参加を増やすなど、改善案をもっと提案していきたいと思っています。

少子化対策が喫緊の問題

浅野 私は評議員2期目に入りました。林理事長が就任されてからも問題は山積みでしたが、最近では理事長と学長が色々な施策を行っていて、以前に比べると明るく前向きな雰囲気

気になってきました。これからも大学への観察、提言ができればと思っていますが、なかでも少子化対策問題が喫緊だと感じています。

今泉 2040年には学生数が3割減ると言われています。それに向けての大学のあり方を見据えた上で、パーパスやミッションを決めていく作業が必要だと感じています。少子化をいっきかけにしたいですね。大学をガラッと大幅に変革して、選ばれる大学になるための方策を真剣に考えなければなりません。

浅野 私が日本大学法学部を選んだ決め手は、総合大学ということ

あさの・みゆき●北海道生まれ。1981年法学部法律学科卒業。1983年司法書士試験合格。2010年から2011年日本大学法学部司法書士科研究室運営委員。2018年から2022年司法書士桜門会会長。みゆき司法書士事務所所長。日本大学法学部校友会会長。日本大学評議員。



Miyuki Asano

日本大学法学部校友会会長／日本大学評議員
浅野みゆきさん
(1981年 法律卒)

日本大学理事
今泉祐子さん
(1981年 新聞卒)

私たちが対談に参加しました



清家 愛さん
2001年 新聞卒

平野美咲さん
公共政策4年

野中菜々美さん
公共政策4年

した。でも実際通ってみたら、「法学部単科大学」のようでした。いろんな学部の人と交流できると思っていたのに残念でした。

今泉 そうですね。立地や環境の違いはありますが、学生間の交流は、ワールドカフェや相互履修制度など少しずつ改革が進んでいると思います。学生のお二人はワールドカフェに参加されましたか？

野中 コロナの時期だったのでオンラインで参加しました。

平野 入学して割とすぐ開催されて、まだ自分の学部についてわかっていなかっただったので、学部間交流というよりも同じ学年の人たちと話す、という印象でした。2年生、3年生でも参加できればいいなと思いました。

今泉 もう少し時期を遅らせたり、2年時以降も参加できるとよさそうですね。移動の問題はズーム等で解決できるので、全学部での交流をもっと増やして、オール日大の強みを出していきたいですね。

大学への貢献

浅野 司法書士としてこれまで勉強したことや仕事での経験が、寄附行

は選択肢が増えたと同時に迷いや悩みが増えたかもしれませんね。

積み上げてきたキャリア

今泉 卒業後、ニューメディアに力を入れていたフリーペーパーを発行する会社に就職しました。夜遅くまで働いてましたね。結婚し、子どもが産まれて、その経験を生かして育児雑誌の編集者になりました。その後は介護関係の広報の職に就きましたが、どれも困っている人の役に立っているという

為等改正検討委員会で生かされたような気がします。「少しは母校の役に立ててよかった」と心から思いました。評議員会では普通の感覚を忘れずに、素朴な疑問を投げかけることを意識しています。

今泉 私もそうですね。一般の生活者の視点で疑問に思ったことを指摘することが多いです。慣例でやってきていることも多いですからね。

浅野 最初の評議員会で、女性の役員が増えたのに、大学本部の2階に女性の洋式トイレが少なくて混んでいて困っていると発言したんです。そうしたらそれが議事録に残って、次第に改善されました。大きな組織なので、議事録に残すことの重要性を知りました。

大学時代の思い出

浅野 今泉さんは新聞学科だったんですね。どんな学生時代でしたか？

今泉 雑誌論のゼミに入っていました。マスコミ志望の仲間たちに刺激を受けて、充実した時間を過ごしました。

浅野 就職活動はどうでしたか？

その頃、女子学生は自宅通勤が条件が仕事を続けることに信念が必要だったと感じます。お子さんを育てながらお仕事を続けてこられたんですね。大変じゃなかったですか？

今泉 当時は珍しかったのですが、子どもを二人とも0歳児クラスから保育園に入れて、周りの支援をめちゃめちゃ受けながらやり通しました。

清家 私も子育てしながら仕事をしています。モチベーションを保つのは大変ではなかったですか？

今泉 ちょっとずつやってきたことが違うので続けられたと思います。子育てしながらだと時間が限られるので、余程好きじゃないと続かないと思うんですね。睡眠時間を削って仕事してましたね。

浅野 楽しくないと続かないですよ。最近「歳をとるのも悪くない」と感じています。依頼人も歳をとるにつれ相談内容が変化して、段々と必要な知識も自分の知恵も増えていくんですよ。その面白さを感じています。

野中 今年から社会人になるので、仕事の面白さを感じながら続けていきたいと思っています。

少子化をきっかけに
大学を大幅に変革していくことが
必要だと思っています。

になっていて、4年制大学卒業の地方出身の女子学生には一般企業の就職先がなかったと記憶しているんですが、今泉さんは東京都のご出身なので困ることはなかったですか？

今泉 一般企業でなくマスコミ志望でしたので、自宅通勤かどうかはあまり関係なかったかと思っています。

浅野 親元から通わないと職がありませんというのは今から思うと信じられない話ですよ。私は地方出身だったので、とにかく資格を取らなければ働き続けられないと思って資格試験の勉強をしました。今の学生

リフレッシュ方法

今泉 浅野さんはゴルフをやられるんですよね？ 私は息子の勧めで50歳過ぎてから始めたんです。大人の速足って言われてますけど(笑)。

浅野 ゴルフの時は肩書きを忘れて一プレイヤーになれるのがいいですね。

今泉 最近孫の送り迎えを機に、私はスイミングを始めたんですよ。

浅野 それはすごいですね！ やりたいうことをやるための体力作りがこれから大切ですね。



Miyuki Asano



Sachiko Imaizumi



大学では
普通の感覚で発言することを
いつも意識しています。

サッカーJリーグ

ツインズ

熊倉兄弟に聞きました!

兄

熊倉弘貴さん

横浜FC #28/MF



弟

熊倉弘達さん

ヴァンフォーレ甲府 #11/MF



応援よろしくお願いします!



2025年に法学部を卒業し、サッカーJリーグでプロ選手として活躍している双子の兄・熊倉弘貴さん(横浜FC)と弟・熊倉弘達さん(ヴァンフォーレ甲府)にお話を伺いました。



Q. 昨年を振り返って

開幕前はスタメンでシーズン通して戦うという目標を掲げていましたが、いざ蓋を開けてみるとプロの壁は高かったです。カップ戦では出場機会に恵まれ、チームも上まで行けてよかったのですが、主戦場のリーグ戦に出られなかったのは悔しかったです。最終戦はスタメンフル出場できたので、次に繋げていきたいです。

Q. プロになって特に感じたことは

判断スピード、ボールの扱い方、体の扱い方がうまいなと思いました。最初は練習でも一つ遅れてるなというのは肌で感じましたが、少しずつ慣れていくことができました。

Q. 今の課題について

守備の面ですね。自分の良さはボールを動かす、チームを動かすことですが、守備面でボールを奪い切れるようになれば試合に絡める時間が増えていくと思います。

Q. 日大サッカー部で学んだことでプロで生きていることは

弘達(弟)と違って大学4年間ずっと試合に出ていたわけではなかったんですが、出られない時にどう過ごすかが大事だと思っています。去年も出られない時期が長かったですが腐ることなく、常に自分に集中できたのは、大学の4年間があったからだと思っています。

Q. 今シーズンの目標

去年はリーグ戦に出場することが少なかったのでリーグ戦に絡めるよう自分の良さを発揮したいです。自分の価値を示しながらチームに不可欠な存在になっていきたいです。

Q. サッカー人生における目標

子どもたちが自分のプレーを見て「サッカー選手になりたい」と思ってくれたら一番いいですね。自分の技術が向上して、海外で戦う、日本代表で戦うとなるのはもちろん光栄ですが、それ以上に多くの人にサッカーの楽しさを伝えていきたいと思っています。

弟・弘達さんへ

自分が試合に出られなかった分、弘達が出場時間重ねてたのが羨ましいと思っていました。初スタメン、初ゴールはすごかった! 今度マッチアップすることを楽しみにしています。

くまくら・こうき◎2002年5月16日生まれ。新潟県出身。大学4年の時は主将を務め、リーダーシップを発揮した。174cm、70kg。

Q. 昨年を振り返って

試合に最初から出ることができましたが、夏に怪我をしてしまって出場時間が減ってしまいました。試合数や体の疲労感は大学とは比べものにならないほどハードで、プロのキツさを実感しました。

Q. プロになって特に感じたことは

自分が想像していた以上にプロの強度やスピード感はすごかったです。それにまず慣れないといけなと思いました。

Q. 今の課題について

ゴール、得点に絡んでいくことです。前線でやっている以上チームで上位といわず、リーグで上位になる数字を残していきたいですね。

Q. 初得点(2025年3月9日vs藤枝戦)について

初スタメンでゴールを決めることができ嬉しかったです。ゴールを決めた時の歓声はすごかったですね。スタンドからJリーグを見る側だった自分が見られる側になったんだ、プロになったんだと実感しました。

Q. 日大サッカー部で学んだことでプロで生きていることは

地域の方々やサポーターとの距離がとて近いです。接する時に人として尊敬してもらえるような言動を心がけています。日大サッカー部で言われていた「サッカーだけじゃない」ということが生きていると思います。

Q. 今シーズンの目標

個人としてもチームとしてもレベルアップしていきたいです。サポーターが期待できるようなチームの形を示していきたいです。

Q. サッカー人生における目標

プロサッカー選手には小さい頃から憧れていました。自分たちが見本となって「サッカー選手になりたい」という子どもが一人でも増えるようにプレーしていきたいです。

兄・弘貴さんへ

弘貴とは今までいつも一緒に練習していましたが、プロになって初めて別々のチームでプレーすることになりました。今度マッチアップした時にどれだけお互い成長したかわかるのが楽しみです。

くまら・こうたつ◎2002年5月16日生まれ。新潟県出身。大学1年のリーグ戦の開幕戦で先発して以降、ほぼ全てのリーグ戦に出場し、4年間で87試合23ゴール19アシストを記録。171cm、69kg。

日本の温泉文化を未来へ

日本温泉協会の要職に就かれている
校友お二人にお話を伺いました。



一般社団法人 日本温泉協会会長
和倉温泉「ゆけむりの宿 美湾荘」会長

多田 計介さん

1974年 法学部政治経済学科卒業



ただ・けいすけ ● 1951年東京都生まれ。1974年法学部政治経済学科卒業。同年日本通運入社。5年後、叔父の跡を継ぎ石川県和倉温泉「ゆけむりの宿 美湾荘」の経営に携わる。現代表取締役会長。2017年全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会第10代会長に就任。民泊問題、外国人労働者問題、コロナ対応など様々な問題に向き合った。2024年1月の能登半島地震において自身が経営する施設が甚大な被害を受けた。2024年6月より日本温泉協会会長。

温泉文化を ユネスコ無形文化遺産へ

多田さんが会長を務める日本温泉協会では現在、温泉文化をユネスコ無形文化遺産に登録する活動のサポートに力を入れています。

「温泉は日本人にとって身近で当たり前存在ですが、海外から見れば魅力的な観光資源です。ユネスコ無形文化遺産登録を実現することによって、地方の温泉地にも観光客が訪れ、温泉業界で働く人々の環境改善や誇りの醸成につながればと思っています」
韓国、中国、タイ、台湾など

海外の温泉地とも交流を深め、日本の温泉文化を世界に発信しています。

能登半島地震での 被災と再出発

2024年1月1日の能登半島地震では、自身が経営する「ゆけむりの宿 美湾荘」も甚大な被害を受けました。

「正月で満室状態の中で地震に見舞われました。避難所は人で溢れていましたので、お客様には車中泊していただき、毛布や食事を提供しました。タンクには相当量の水もありましたが、数日後には水も止

一般社団法人
日本温泉協会

温泉についての研究及び温泉知識の普及に努め、温泉資源の保護、温泉利用施設の改善及び温泉利用の適正化を図り、国民保健の増進と観光資源の活用を寄与することを目的に1929年に設立された。

みですが、若い世代を中心に復興に取り組んでいます」

温泉とともに歩む人生

1974年に大学を卒業後、日本通運に入社。5年後に叔父の跡を継ぎ、旅館経営の道へ進みました。

「祖父が和倉温泉の配湯会社を設立したこともあり、温泉とは深い縁があります。震災後でしたが旅館業の事業承継も済み、家族の後押しもあって日本温泉協会会長をお引き受けしました」

法学部で培った 「法への意識」

大宮校舎に通っていた1年次にイラスト研究会を設立。日本通運に勤めていた時には担当業務の他にパンフレットのイラストを手がけて社内ですら評判になるなど、大学時代の経験が人生の様々な場面で生かされているそうです。

「民法の我妻栄教授の授業で

社会に恩返しができるよう 活動を続けていきたい

は、脱線しながらも非常に興味深いお話を聞けたことが印象に残っています。法律を学んだ経験は社会人になってからも大きな支えになっています。感染症対策やコロナ禍の助成金対応などでも、法を守る意識を常に持つて取り組みました」

今後の目標は「旅館業の 社会的地位向上」

地元の小中高等学校とも連携し、若い世代に観光業の魅力を伝える取り組みにも力を入れています。

「現場で働く人の給与や福利厚生を改善し、観光業が“夢”を持てる仕事”であることを

若い世代に伝えたいです」

校友へのメッセージ

「仕事を通じて多くの日本大出身影者と出会ってきました。法学部で学んだ誠実さを胸に、これからも社会に恩返ししていきたいと思っています」

石川県能登半島 和倉温泉

【ゆけむりの宿 美湾荘】

創業1804年。与謝野鉄幹・晶子夫妻ら文人も訪れた和倉温泉で最も歴史のある宿。七尾湾を望む絶景のロビーと豊富な源泉が魅力。2024年の能登半島地震で被災したが、2025年11月より11室限定で仮営業を開始。

「目の前の海の広がり絶景です。朝日と夕陽が海を介してみられるスポットは珍しいのでぜひ一度お試しください」(多田さん)

〒926-0175 石川県七尾市和倉町和歌崎3-1 TEL:0767-62-2323

HP: <http://www.biwanso.com>



「東アジア温泉連盟」2025年9月、台湾、韓国の温泉協会と交流を進めようと、3団体間の温泉文化に関する交流協定を締結した。



一般社団法人 日本温泉協会専務理事

関 豊さん

1988年 法学部法律学科卒業

せき・ゆたか ● 1966年東京都生まれ。1988年法学部法律学科卒業。同年朝日旅行会に入社。団体旅行の添乗や企画、営業に携わる。日本秘湯を守る会事務局長を兼任後 2017年まで約28年在職。同年5月より一般社団法人日本温泉協会、同年12月より専務理事を務めている。

ユネスコの文化遺産の登録により 温泉業界の活性化を目指す

温泉を“学び”と“文化”の 視点から伝える

日本温泉協会の主な仕事は、温泉の調査・研究、情報の発信です。また協会では年4回、季刊誌「温泉」を発行しています。

「温泉は日本では“観光や娯楽”のイメージが強いですが、

欧米では長い間“医療”の視点で、研究され続けてきました。

地学や化学、医学の分野で先生方が行っている研究内容を、もっと広く世間に広めていくお手伝いをしていけるように、日々の業務を進めています」

温泉の知識を深める 「温泉検定」

日本温泉協会が実施する「温泉検定」は2026年で7回目となります。温泉に関する正しい知識を深め、日本の温泉文化を国内外に発信できる人材を育てることを目的としています。年1回3月に開



季刊誌「温泉」

日本温泉協会会員をはじめ、全国の温泉事業者、温泉・観光行政担当者、温泉研究者、温泉愛好者に愛読されている温泉関係全般に関する総合誌。巻頭特集は一般読者向きで楽しく関心を持てる内容になっている。連載ページは、日本温泉協会加盟の温泉地や宿の身近な話題から、温泉業界を取り巻く社会問題まで幅広く紹介している。また温泉を医学、法学、化学、地学などの分野から学ぶことができる「温泉学講座」も好評。法学部の清水恵介教授も2023年より「温泉地の歴史と温泉権」を連載している。

わつていくと思います」

地熱の有効活用への 提言

近年活発化している地熱発電開発について、「地元の合意」「情報公開」「過剰採取防止」「モニタリング」「被害保証」の5つの提言を掲げ、国に慎重な姿勢を求めているそうです。「地熱を過剰採取してしまうと、温泉源が疲弊してしまうので、慎重に掘削に当たってほしい」と協会として考えています」

旅行会社で約28年間

大学卒業後、朝日旅行会に入社し、若い頃は添乗員として登山や札所巡りなど、体力勝負の旅に同行する日々を過ごしました。その後約20年間、宴会旅行専門の営業を担当しました。パブル期の団体旅行チームの中で企画にも携わり、やがて「日本秘湯を守る会」の事務局長を兼任。28年

勤めたのち、しばしの休職を経て、秘湯を守る会名誉会長であり、日本温泉協会副会長でもある佐藤好億氏との出会いをきっかけに、現在の職に就きました。

新聞配達と 法学部の日々

大学時代は朝日新聞奨学生として、新聞配達をしながら学業に励んでいました。

「苦学生でしたから、子どもを守る法律ってないのかな？」という素朴な疑問が法学部に進学するきっかけになりました。今に比べると学生に対する補償制度も少なかったと思います。

働きながら通っていたので、勉強時間は限られていましたが、板倉宏教授（刑法）や並木俊守教授（商法）、北野弘久教授（税法）など、魅力ある教授の講義は面白かったと今も印象に残っています」

校友へのメッセージ

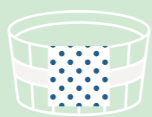
「大学時代は振り返ると本当にあつという間でした。大学でやったことが最終的にどこかに引っかけた役に立つことがあったと思いますね。卒業後に仕事先で日本大学や法学部出身の方に出会うことも多く、マンモス大学の強みを実感しています」

ありがとうございます。
今後のお二人のご活躍をお祈りしています。



【関さんおすすめの湯】

群馬県・法師温泉 長寿館



創業150年を迎える老舗旅館。湯船の底から足元湧出するナトリウム・カルシウム・硫酸塩泉は43度の適温で自然のまま。失われつつある混浴が楽しめる。ph8.2の弱アルカリ性で美肌効果も。明治時代の面影を残す国登録有形文化財の宿。

「2029年に協会が創立100周年を迎えます。これまでのデータをまとめた記念誌の作成や、記念事業の準備を進めているところです」
温泉は日本人に根付いている文化ですが、一方で、温泉地が抱える課題も少なくありません。コロナ禍以降、旅館の倒産や廃業が相次いでいて、地域の疲弊が進んでいます。「温泉で働くことは重労働と思われがちですが、ユネスコの文化遺産に登録され、世界に認められれば、誇りある仕事」として働く人の意識が変

事“として働く人の意識が変

圧倒的な品揃えを誇る、紀伊國屋書店新宿本店。1階から7階まで、広い店内を1時間かけて選書します。

② 選書スタート



① 選書方法と使用機器の説明



専用の機器を使用して、書店を巡ります。

③ POP講習



見本を見ながら、ポップの書き方のコツをつかみます。



⑤ 選書紹介

おすすめの本を紹介。最初は緊張していましたが次第に場が和み、本に対する興味が高まりました。

④ POP作成



アドバイスを元に、選んだ本のPOPを作成します。



法学部校友会が支援しています！



学生選書ツアーレポート

2025年12月6日(土) 令和7年度第2回学生選書ツアーが紀伊國屋書店新宿本店の3階のアカデミックラウンジで開催されました。法学部校友会が支援しているこの企画についてご紹介いたします。

同ツアーは学生が図書館に置きたい本を実際の書店で選ぶ企画で、平成30年にスタートし、途中中断を挟み令和5年より再開しました。年に2回ほど実施されています。令和7年度の第一回は法学部の他に経済学部、三軒茶屋キャンパス、歯学部の4つの図書館合同で、22人が参加(うち10人が法学部)して行われました。

第二回となった今回は、法学部生と大学院生、合計9名の学生が参加しました。まず、書店で使用する専用機器の説明を受けてから選書がスタートしました。学生たちは約1時間かけて(予算2万円以内、合計3冊まで)書店内を巡りました。広い店内を思い思いに移動しながら、熱心に本を選ぶ姿が見られました。

その後、紀伊國屋書店員の伊藤さんより、ポップの書き方講習を受けました。色の使い方講習を受けました。その後、選んだ本は法学部図書館1階に展示され、貸出可能になります。参加した学生からは「普段はネットで本を購入することが多く、ゆっくり本屋を歩くことがないのでじっくり選べたよかったです」「いろんな人の選んだ本とその理由を知ることができた。とても有意義な時間だった」などの感想が聞かれました。選んだ本は法学部図書館1階に展示され、貸出可能になります。

日本大学法学部校友会・日本大学法学部共催
資格試験合格者褒賞制度エントリー数&合格者数

資格名	令和6年度		令和7年度	
	エントリー	合格者	エントリー	合格者
① 司法試験	20	7	33	6
② 司法試験予備試験	14	1	47	0
③ 弁理士	4	0	13	1
④ 税理士	10	0	14	0
⑤ 公認会計士	8	3	21	0
⑥ 司法書士	12	1	24	0
⑦ 土地家屋調査士	0	0	6	0
⑧ 社会保険労務士	11	1	19	1
⑨ 行政書士	90	4	89	0
⑩ 宅地建物取引士	185	25	238	0
⑪ 日商簿記検定 1級	24	0	42	2
⑫ 日商簿記検定 2級	203	19	246	6
⑬ 日商簿記検定 3級	238	25	290	17
⑭ 秘書技能検定 1級	18	0	19	0
⑮ 秘書技能検定準1級	71	11	89	6
⑯ 秘書技能検定 2級	219	46	279	30
⑰ ファイナンシャル・プランニング技能士 2級	81	11	111	1
⑱ 知的財産管理技能検定 2級	28	3	42	3
⑲ 知的財産管理技能検定 3級	58	14	57	2
⑳ 法学検定アドバンス(上級)コース	9	0	16	0
㉑ ビジネス実務法務検定 1級	5	0	10	0
㉒ ビジネス実務法務検定 2級	17	0	35	1
㉓ ビジネス実務法務検定 3級	25	1	49	2
国家公務員採用試験(院卒者試験・大卒程度試験)				
㉔ 国家総合職/裁判所職員総合職/衆・参事務局総合職/国会図書館総合職	18	2	36	2
㉕ 国家一般職/財務専門官/国税専門官/労働基準監督官/法務省専門職員/航空管制官/外務省専門職員/裁判所職員一般職/衆議院事務局一般職/国会図書館一般職/自衛隊幹部候補生	92	32	138	43
対象地方公務員採用試験(警察官・消防官除く)				
㉖ 都道府県職員採用試験(上級・大卒程度)/政令指定都市職員採用試験(大卒程度)/東京都特別区職員採用試験(1類)	119	38	165	37
㉗ 応用情報技術者	14	0	17	0
㉘ 基本情報技術者	50	0	73	0
㉙ ITパスポート	224	14	316	6
外国語検定試験				
㉚ 英検1級/TOEFL iBT(95点以上)/TOEFL ITP(550点以上)/TOEIC(945点以上)/IELTS(7.0以上)/ドイツ語1級/フランス語1級/中国語1級/CEFR C2及びC1	22	0	85	0
㉛ 英検準1級/TOEFL iBT(72点以上)/TOEFL ITP(500点以上)/TOEIC(785点以上)/IELTS(5.5以上)/ドイツ語準1級/フランス語準1級/中国語準1級/CEFR B2	201	6	284	4
㉜ 英検2級/TOEFL iBT(42点以上)/TOEFL ITP(450点以上)/TOEIC(550点以上)/IELTS(4.0以上)/ドイツ語2級/フランス語2級/中国語2級/CEFR B1	252	22	319	14
合計	2,342	286	3,222	184

2025年12月13日現在

令和7年司法試験

日本大学ロースクール
昨年を上回る好成績!



2025年11月12日(水)に、令和7年司法試験の合格発表が行われました。
本研究科在学生・修了生からは104名中21名が合格し、対受験者合格率は20.19%でした。
(法科大学院別の合格者人数順位では15位、同合格率順位では21位。)
このうち、在学中の受験資格(法科大学院課程の在学及び司法試験法第4条第2項第1号に規定する学長の認定により得られる受験資格)で7名が合格しています(対受験者合格率28.00%)。



令和7年度 日本大学法学部・大学院
ホームカミングデー開催!!



令和7年度日本大学法学部・大学院ホームカミングデーが2025年11月3日(月)にホテルメトロポリタンエドモント(東京・千代田区)にて開催され約150名の卒業生が参加しました。
坂本力也法学部次長、浅野みゆき法学部校友会会長が挨拶をしました。宇田隆康法学部事務長による乾杯の後、歓談となりました。坂本次長による法学部近況報告の後、企画として参加者による名刺交換会が行われ、多くの人が楽しく交流する姿が見られました。最後は校歌斉唱を行い、盛会のうちにお開きとなりました。

シンポジウムも同日開催

「SDGsは社会の課題を解決できるのか
—SDGsを学問的に考える」

シンポジウム「SDGsは社会の課題を解決できるのか—SDGsを学問的に考える」が学部祭(法桜祭)が開催中の法学部10号館講堂で開かれました。
会場では、教授・校友・在学生による活発な議論が展開され、岩崎ゼミの学生による「法学部生の意識調査アンケート」結果等も発表されました。



本紹介



SDGsは
実現できるのか

社会問題解決への取り組み

勁草書房 定価3,300円 A5判 208頁 / 2025年12月発行

今や言葉だけでなく、17の目標をロゴにしたデザインなども日常生活に定着し、人びとにとって「当たり前」のようになったかのように感じられるのがSDGsであるが、……SDGsの内容をめぐる「総論賛成、各論反対」ともいえるような、現実社会におけるさまざまな対立がみられるし、政治の領域に限定しても、決して容易に解決できたり、実現できたりすることばかりでないことは明白である。……「右へ倣え」的にSDGsが前向きに捉えられ、数多くのポジティブな議論が散見される現状において、SDGsそのものが果たして良いのか否かについて正面から疑ったり、問い直したりすることにより、現時点におけるSDGsに関する議論の限界と課題を明らかにすることは意義があると考えます。

日本大学法学部政経研究所 企画

岩崎正洋 編著

日本大学法学部教授。東海大学大学院政治学研究所博士課程後期修了。博士(政治学)。

「あとがき」より

法学部校友会の活動を応援しています。

<p>小林 幸雄 (昭和五十三年 法律学科卒) 〒102-0074 東京都千代田区九段南一丁目一番三十号 イタリヤ文化会館ビル四階 電話(03)3136-1491 FAX(03)3136-1779</p>	<p>廣田 健史 (昭和四十六年 経営法学科卒) 〒130-0003 墨田区横川三一九一三 電話(03)381-5136 FAX(03)381-5187 https://www.keankyoseishi.com</p>	<p>浅野 みゆき (昭和五十六年 法律学科卒) 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前四一九一八二二五 みゆき司法書士事務所/司法書士/行政書士 電話(03)3404-1603 FAX(03)3404-1605 https://emiyuki.com/</p>	<p>山崎 正昭 (昭和四十年 政治経済学科卒) 〒100-8962 東京都千代田区永田町二二一 参議院議員会館二〇号室 電話(03)6550-1101</p>
<p>木村 洋一郎 (平成元年 法律学科卒) 〒101-8375 千代田区神田三崎町二二二一 電話(03)3136-1927 FAX(03)3136-1356</p>	<p>松川 聖業 (平成六年 経営法学科卒) 〒369-0293 埼玉県鴻巣市普濟寺一六九〇 電話(048)585-1680 FAX(048)585-1689</p>	<p>野村 吉太郎 (昭和五十六年 法律学科卒) 〒107-0052 東京都港区赤坂八六一一七 スカイフアザ赤坂三二一 電話(03)3475-0410 FAX(03)3475-0411 http://www.nomuradlaw.com/</p>	<p>岸 伸光 (昭和四十八年 政治経済学科卒) 〒116-0001 東京都荒川区町屋二一九一三 電話(03)381-9173</p>
<p>笹川 拓 (平成十二年 法律学科卒) 〒113-0033 東京都文京区本郷一二十五一四 ヘルスクエア本郷五階 電話(03)3680-1590 FAX(03)3680-1592 http://www.dankyo-pai.com</p>	<p>坂井 愛 (平成十年 法律学科卒) 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南一四一十二 フロンティア恵比寿六階 電話(03)5725-1382 FAX(03)5725-1382</p>	<p>支部長 平岩 幸男 (昭和四十七年 法律学科卒) 〒162-0805 東京都新宿区矢来町四一三三 株式会社ジャパン・サン貿易内 電話(03)5271-8335 FAX(03)5271-8336 携帯090-3533-1357</p>	<p>上村 英生 (平成六年 経営法学科卒) 〒270-1143 千葉県我孫子市天王台一四一四一十 電話(04)7185-1224 FAX(04)7185-1224</p>

「令和6年度卒業祝賀会」が開催されました。

2025年3月25日(火)にホテルメトロポリタンエドモント(東京・千代田区)で卒業祝賀会が開催されました。たくさんの卒業生、学部の先生、職員の方々が参加しました。法学部校友会からは浅野みゆき会長と常任幹事が参加し、卒業記念品として名刺入れ、ハンカチタオル、トートバッグをプレゼントし、卒業生の門出をお祝いしました。



「マスコミ・メディア就活セミナー」開催

2025年9月20日(土)10号館にて、マスコミ業界志望の学生による企画「マスコミ・メディア就活セミナー」が開催されました。当日は、法学部校友のマスコミ関係者による講演のほか、個別相談会や懇親会も行われ、活発な交流の場となりました。学生サポーター代表の手塚翔三さんは「早めの周知を行えたことが全体の参加者数増加につながったと感じています。OB・OGの参加者数もコロナ前に戻すことができ、第二部個別座談会も充実していたと、学生の皆さまから好評でした」と話していました。



「法学部卒業生による就職セミナー」開催

2025年10月11日(土)に、「法学部卒業生による就職セミナー」が開催されました。シンポジウム形式による就職活動に向けた講演の後、約60社100名以上の校友がブース形式で学生に企業紹介を行い、約200名の学生が参加しました。学生たちは熱心に校友の話に耳を傾け、積極的に質問や相談を行う姿が見られました。また、セミナー終了後には懇親会も開催され、校友同士の親睦を深める貴重な機会となりました。



「第47回法律討論会」が行われました。

2025年12月13日(土)に10号館1011講堂で第47回法律討論会が開催されました。日本大学法学部法学研究所が主催で、法学部校友会と法曹会が後援をしています。発表概要書審査の上、6組が本戦に出場を果たしました。当日は法曹会から弁護士、裁判官、検事に講評や審査員として参加いただきました。優勝チームには表彰状、優勝トロフィーで表彰しました。終了後は、本館地下食堂で出場チームの学生や審査員の先生方と懇親しました。



「資格試験合格者褒賞授与式」が行われました。

2025年12月13日(土)に資格・検定・公務員試験褒賞授与式を本館大講堂で行いました。これは学生があらかじめ挑戦する資格をエントリーし、合格した学生を法学部と法学部校友会が褒賞するものです。今年も司法試験をはじめ、弁理士、社会保険労務士、その他日商簿記や秘書検定などさまざまな資格試験に合格した150名余りの学生を褒賞することができました。



司法書士桜門会 入会のご案内

- 1 会員資格は日本大学を卒業し、または日本大学の関係者にして、司法書士資格を有する者です。(司法書士桜門会会則第2条)
- 2 会の目的は会員の親睦及び母校の振興に寄与することです。(会則第3条)
- 3 本会はこの目的を達成するために次の事業を行います。(会則第4条)
 - ①懇親会等の開催 ②会員名簿の作成、管理
 - ③司法書士を目指す学生、卒業生に対する支援 ④その他必要とする事業

〒102-0074 千代田区九段南1丁目6番5号 九段会館テラス2階
 E-mail nishide@n-pso.com FAX 03-6910-0498
 司法書士 西出雄一 (2007年政治経済学科卒、2010年日本大学大学院法学研究科卒)

1.お名前 2.事務所住所、事務所名 3.電話番号 4.FAX番号
 5.メールアドレス 6.卒業学科 7.卒業年 8.司法書士合格年

2025年4月18日に、法学部の司法書士科研究室のガイダンスにおいて、本学出身の現役司法書士が、学生に司法書士の魅力を伝えるための説明を行いました。

また、司法書士桜門会の紹介記事が「月間登記情報」4月号に「大学OB・OG会における司法書士の活動」として取り上げられました。今後も同窓の司法書士同志や他業界の方々との懇親を図るとともに司法書士を目指す学生の支援を続けてまいります。

司法書士桜門会会長 高木 宏



ガイダンスの様子

各支部 令和7年度 総会・懇親会の様子

令和6年度会計収支決算報告書

(自:令和6年4月1日～至:令和7年3月31日) 単位:円

科目	予算額	決算額	差額
収入の部			
会費登録料収入	300,000	440,000	140,000
交付金収入	29,055,000	29,375,000	320,000
広告料収入	200,000	230,000	30,000
預金利息収入	1,300	12,565	11,265
懇親会収入	1,000,000	1,017,000	17,000
その他収入	5,000,000	0	△ 5,000,000
当年度収入合計	35,556,300	31,074,565	△ 4,481,735
前期繰越金	12,607,162	12,607,162	0
収入合計	48,163,462	43,681,727	△ 4,481,735
支出の部			
通信費	300,000	921,303	621,303
旅費交通費	500,000	560,356	60,356
会報発行費	3,000,000	2,671,601	△ 328,399
総会懇親会費	1,500,000	1,223,805	△ 276,195
ホームページ保守	294,800	325,600	30,800
その他行事費	200,000	110,000	△ 90,000
慶弔・渉外費	1,000,000	613,736	△ 386,264
事務局諸経費	4,500,000	3,927,287	△ 572,713
奨学金費用	6,600,000	4,440,000	△ 2,160,000
支援支出	22,750,000	16,790,443	△ 5,959,557
予備費	5,000,000	0	△ 5,000,000
本部校友会負担金	470,000	340,000	△ 130,000
資産運用支出	0	0	0
支部支援金	800,000	800,000	0
当年度支出合計	46,914,800	32,724,131	△ 14,190,669
次期繰越金	1,248,662	10,957,596	9,708,934
支出合計	48,163,462	43,681,727	△ 4,481,735

令和7年度収支予算書(案)

(自:令和7年4月1日～至:令和8年3月31日) 単位:円

科目	令和6年度決算	予算額	増減
収入の部			
会費登録料収入	440,000	300,000	▲ 140,000
交付金収入	29,375,000	29,395,000	20,000
広告料収入	230,000	200,000	▲ 30,000
預金利息収入	12,565	15,000	2,435
懇親会収入	1,017,000	1,000,000	▲ 17,000
その他収入	0	5,000,000	5,000,000
当年度収入合計	31,074,565	35,910,000	4,835,435
前期繰越金	12,607,162	10,957,596	▲ 1,649,566
収入合計	43,681,727	46,867,596	3,185,869
支出の部			
通信費	921,303	1,200,000	278,697
旅費交通費	560,356	600,000	39,644
会報発行費	2,671,601	3,000,000	328,399
総会懇親会費	1,223,805	1,500,000	276,195
ホームページ保守	325,600	294,800	△ 30,800
その他行事費	110,000	200,000	90,000
慶弔・渉外費	613,736	1,000,000	386,264
事務局諸経費	3,927,287	4,300,000	372,713
奨学金費用	4,440,000	6,600,000	2,160,000
支援支出	16,790,443	25,250,000	8,459,557
予備費	0	1,000,000	1,000,000
本部校友会負担金	340,000	470,000	130,000
資産運用支出	0	0	0
支部支援金	800,000	800,000	0
当年度支出合計	32,724,131	46,214,800	13,490,669
次期繰越金	10,957,596	652,796	▲ 10,304,800
支出合計	43,681,727	46,867,596	3,185,869

福島県支部



法学部校友会福島県支部「桜門会」第10回総会が、令和7年2月16日(日)郡山市の郡山ビューホテルアネックスで開催されました。新型コロナウイルスの感染拡大などにより、5年7カ月ぶりの開催となりました。会員20人をはじめ、来賓の浅野みゆき法学部校友会会長、森栄一日大校友会県支部長に出席いただきました。斎藤肇事務局長がこれまでの経緯を交えて挨拶をした後、前回開催時以降の事業報告、決算報告、令和7年度の事業計画、予算計画、規約改正案を全会一致で承認しました。役員改選では、急逝した武藤正隆支部長の後任に今泉満臣さんを選出しました(任期は2年)。懇親会では和やかに懇親し、親睦を深めるとともに後輩への協力を誓いました。

宮城県支部



法学部校友会宮城県支部の総会、懇親会が令和7年3月29日(土)に仙台駅近くの「仙台うまいもん 個室居酒屋 亜門」で開催されました。小田司法学部長や法学部校友会の浅野みゆき会長にご参加いただき、支部の皆様と懇親しました。

神奈川県支部



法学部校友会神奈川県支部第33回総会が、令和7年6月21日(土)、横浜中華街 金香樓で開催されました。法学部出身の神奈川県在住の校友会総会で、当日は30名程集まりました。総会后、桐ヶ谷支部長が講師となり講演会を開催。テーマは「事件に巻き込まれないためにどうすべきか」で皆さん関心を持って聞きました。その後の懇親会では来賓として小田司法学部長はじめ、法学部校友会の木村洋一郎副会長、校友会神奈川県支部の松本英雄支部長からご挨拶をいただきました。来賓として、法学部校友会山形県支部支部長、日本大学高等学校・中学校校長のほか、校友会各支部から東京都第二支部、東京都第六支部、川崎支部、経済学部校友会かながわ支部の各会長・副会長、県下桜門会から湘南桜門会、小田原桜門会、横須賀桜門会の各支部長、副支部長も出席して下さいました。懇親会はなごやかに進み、最後に全員で応援歌「花の精鋭」を合唱し、閉会しました。

山形県支部



令和7年10月31日(金)、法学部校友会山形県支部の総会及び懇親会が、ホテルメトロポリタン山形で開催され、小田司法学部長、浅野みゆき法学部校友会会長より、ご挨拶をいただきました。宮城県支部のほか、福島県支部からもご出席いただき、県内外の校友の皆様と、より一層、絆を深めることができました。

法学部校友会 役員紹介

- 会長** 浅野みゆき **幹事長** 上村英生
- 特別顧問** 杉本 稔 **参与** 廣田健史
- 副会長** 野村吉太郎 木村洋一郎 松川聖業 岸 伸光 小林幸雄
- 副幹事長** 館石浩二 猪野恭典
- 常任幹事** 宇藤 潔 川上俊明 平岩幸男 有吉 真 小寺貴久 平井利昌 水町栄治 清水恵介 今井勇太 生方朋子 橋本純一 内倉厚一郎 菅野もえ 小松崎恵介 川松真一朗 川口 崇
- 幹事** 塩澤和馬 松嶋舞花 森 大樹 広瀬有沙 松本菜摘 田村勝利
- 監査** 坂井 愛 笹川 拓 **広報委員長** 清家 愛



杉本稔先生 叙勲祝賀会が開催されました

法学部元学部長で校友会特別顧問の杉本稔先生が、長年にわたる教育へのご貢献により、瑞宝中綬章の栄に浴されました。これを祝し、2025年9月27日(土)に祝賀会が開催されました。当日は杉本ゼミの卒業生をはじめ、小田学部長、宇田事務局長など、100名を超える関係者が集い、ご受章を盛大にお祝いました。

速報

法学部卒業の嶋津輝さんが第174回直木賞受賞!

2026年1月14日(水)に開催された第174回直木三十五賞の選考委員会において法学部卒業の嶋津輝さんの「カフェーの帰り道」が授賞作に決まりました。

12年ぶりにシード権獲得！
多くの法学部生が活躍しました！



石川悠斗選手
政治経済2年

7区 天野啓太選手
政治経済3年

4区 片桐禪太選手
政治経済3年

8区 山口月暉選手
政治経済4年

3区 富田悠晟選手
政治経済4年

5区 鈴木孔士選手
政治経済4年

主務 荒木日成さん
政治経済4年

古櫻復活

2025年12月13日(土)に日本大学文理学部 本館地下1階センターホールにて、箱根駅伝壮行会と合同取材が行われ、テレビ・新聞・雑誌などのメディアや関係者などが集まりました。予選会を4位で通過し出場を決めた、第102回 東京箱根間往復大学駅伝競走は2026年1月2日、3日に開催され、本学は接戦の末総合10位になり12年ぶりにシード権を獲得しました。前回大会では最下位の20位に沈み悔しい思いをしましたが、個々が力をつけ見事来年度のシード権獲得という結果を手にしました。法学部からは3区に富田悠晟選手(政治経済4)、4区に片桐禪太選手(同3)、5区に鈴木孔士選手(同4)、7区に天野啓太選手(同3)、8区に山口月暉選手(同4)とたくさんの選手が出場し、力のある走りを見せてくれました。来年の走りにも期待しましょう。



桜上水陸上競技場にて